



S3 バケットを管理する

Amazon S3 storage

NetApp
February 23, 2024

目次

S3 バケットを管理する	1
S3バケットを追加	1
S3バケットの設定を変更します	2
S3バケットでネットアップデータサービスを使用	5

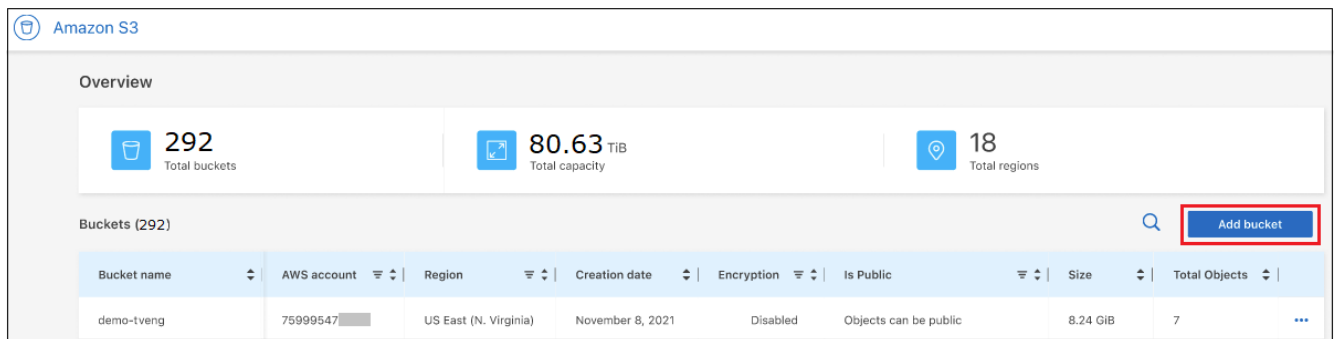
S3 バケットを管理する

S3バケットを追加

Amazon S3作業環境がキャンバスに表示されたら、BlueXPから直接バケットを追加できます。

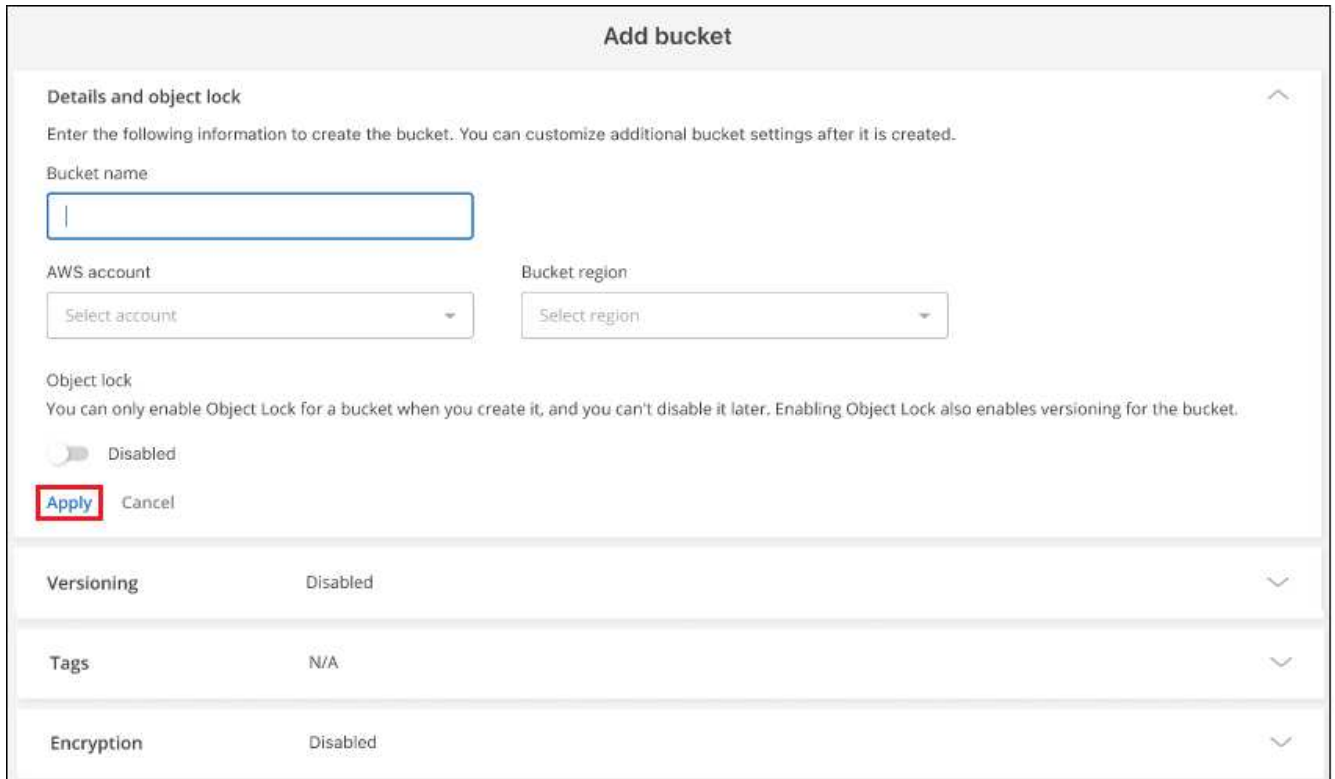
手順

1. Canvasで、Amazon S3作業環境をダブルクリックしてAmazon S3バケットの概要ページを表示し、*[バケットの追加]*をクリックします。



ボタンの詳細を示すスクリーンショット。"]

_Add bucket_pageが表示されます。



ページのスクリーンショット。"]

2. [Add bucket]ページで、バケットの作成に必要な情報を入力し、*[Apply]*をクリックします。

- バケットに使用する名前を入力します。
- バケットの所有者になるAWSアカウントを選択します。これは、コネクタがデプロイされたプライマリアカウントにすることも、にすることもできます ["BlueXPに追加した別のアカウント"](#)。
- バケットを作成するAWSリージョンを選択します。
- 必要に応じて、バケットでS3オブジェクトロックを有効にして、Write-Once-Read-Many (WORM) モデルを使用してオブジェクトを格納できます。オブジェクトロックを使用する場合は、バケットの作成時に有効にする必要があります。オブジェクトロックを有効にすると、バージョン管理も有効になります。 ["オブジェクトロックの詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください"](#)。

バケットが作成されます。

次のステップ

最初にバケットを追加するときに、バージョン管理、タグ、暗号化を手動で設定することはできません。バケットの作成後、バケットのこれらの他のプロパティを設定できます。 ["バケット設定の変更について詳しくは、こちらをご覧ください"](#)。

S3バケットの設定を変更します

Amazon S3作業環境がキャンバスで使用可能になったら、一部のバケットプロパティをBlueXPから直接変更できます。

バケット名、AWSアカウント、リージョン、オブジェクトのロック設定は変更できません。

次のバケットプロパティを変更できます。

- バケット内のすべてのオブジェクトでバージョン管理が有効になっているか無効になっているか。
- バケットに追加されるオブジェクトにタグを適用することもできます。
- バケットに追加された新しいオブジェクトを暗号化するかどうか、および暗号化に使用するオプション。

これらのバケット設定は、をクリックしてBlueXPから直接変更できます [...](#) バケツのために。

Bucket Name	AWS Account	Region	Creation Date	Encryption	Is Public	
compliance-dataset22	7599954	US West (Oregon)	March 1, 2020	Enabled ⓘ	Bucket and ob	⋮
fabric-pool-8b18cf1e-6d64	7599954	US West (Oregon)	March 24, 2020	Enabled ⓘ	Bucket a	View details
motor-vehicle-bucket01	7599954	US West (Oregon)	June 3, 2020	Enabled ⓘ	Objects	Edit versioning
fabric-pool-a548f122-a681	7599958	US West (Oregon)	June 5, 2020	Enabled ⓘ	Objects	Edit tags
motor-vehicle-bucket64	7599958	US West (Oregon)	June 10, 2020	Enabled ⓘ	Objects	Edit encryption

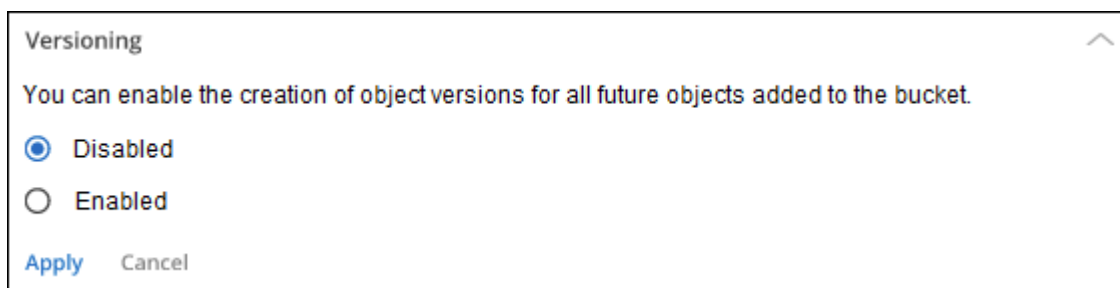
ボタンを選択してバケットのプロパティを編集する方法を示すスクリーンショット。"]

バージョン設定を変更します

バージョン管理では、誤って削除または上書きされたオブジェクトをリストアできるように、オブジェクトの複数のバージョンをバケットに保持することができます。以降のオブジェクトがバケットに追加されるたびに、バージョン管理設定を変更できます。バージョン管理の設定を変更しても、既存のオブジェクトの値は変更されません。

BlueXPで作成される新しいバケットでは、バケットの作成時にオブジェクトロックを有効にしていなかったかぎり、バージョン管理はデフォルトで無効になります。"バージョン管理の詳細については、[Amazon S3のドキュメントを参照してください](#)。"

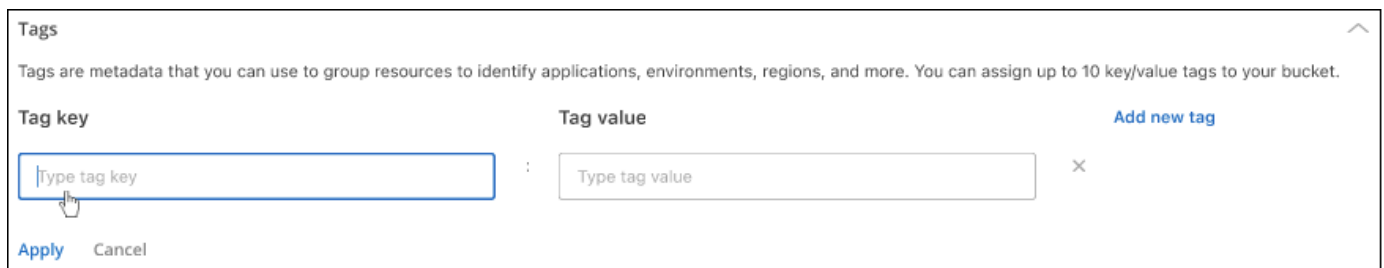
有効にすると、バージョン管理を一時的または永続的に停止する場合は、「一時停止」状態を選択できます。一度有効にすると、バージョン管理を無効にすることはできません。



バケット内のオブジェクトのタグを追加または変更します

タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウドプロバイダなどを特定するためのメタデータです。タグは、タグキーとタグ値で構成されます。バケットにタグを追加して、バケットに追加されたオブジェクトにタグが適用されるようにすることができます。タグおよびタグ値を変更および削除することもできます。

BlueXPで作成される新しいバケットでは、タグはデフォルトで無効になっています。"タグ付けの詳細については、[Amazon S3のドキュメントを参照してください](#)。"



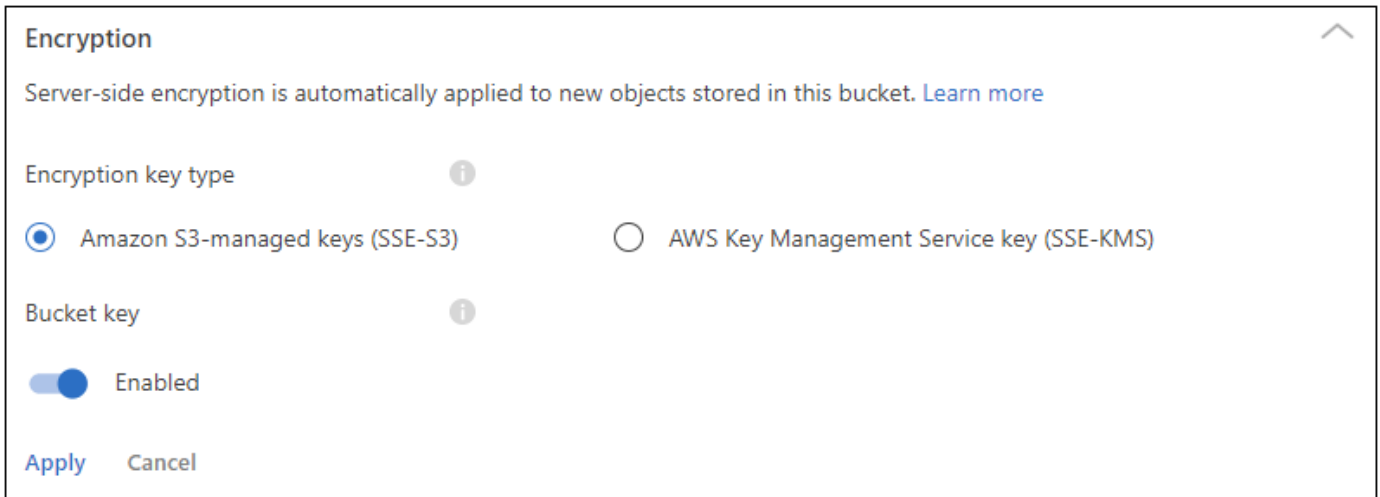
タグを追加したら、適用*をクリックして変更を保存します。さらにタグを追加する場合は、[新しいタグの追加]*をクリックします。バケットあたり最大10個のタグを追加できます。

暗号化設定を変更します

サーバ側の暗号化を使用すると、Amazon S3デスティネーションのデータを暗号化できます。Amazon S3は、ディスクへの書き込み時にオブジェクトレベルでデータを暗号化し、アクセス時に復号化します。以降のオブジェクトがバケットに追加される時に使用される暗号化設定を変更できます。

BlueXPで作成された新しいバケットでは、「Amazon S3 Managed Keys (SSE-S3)」を使用して暗号化がデフォルトで有効になります。"サーバ側の暗号化の詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください"。

または、「AWS Key Management Service key (SSE-KMS)」を使用して暗号化を有効にすることもできます。独自のキー (SSE-C) を使用して暗号化することもできますが、BlueXP UIではこの機能を使用できません。Amazonインターフェイスを使用する必要があります。



Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type ⓘ

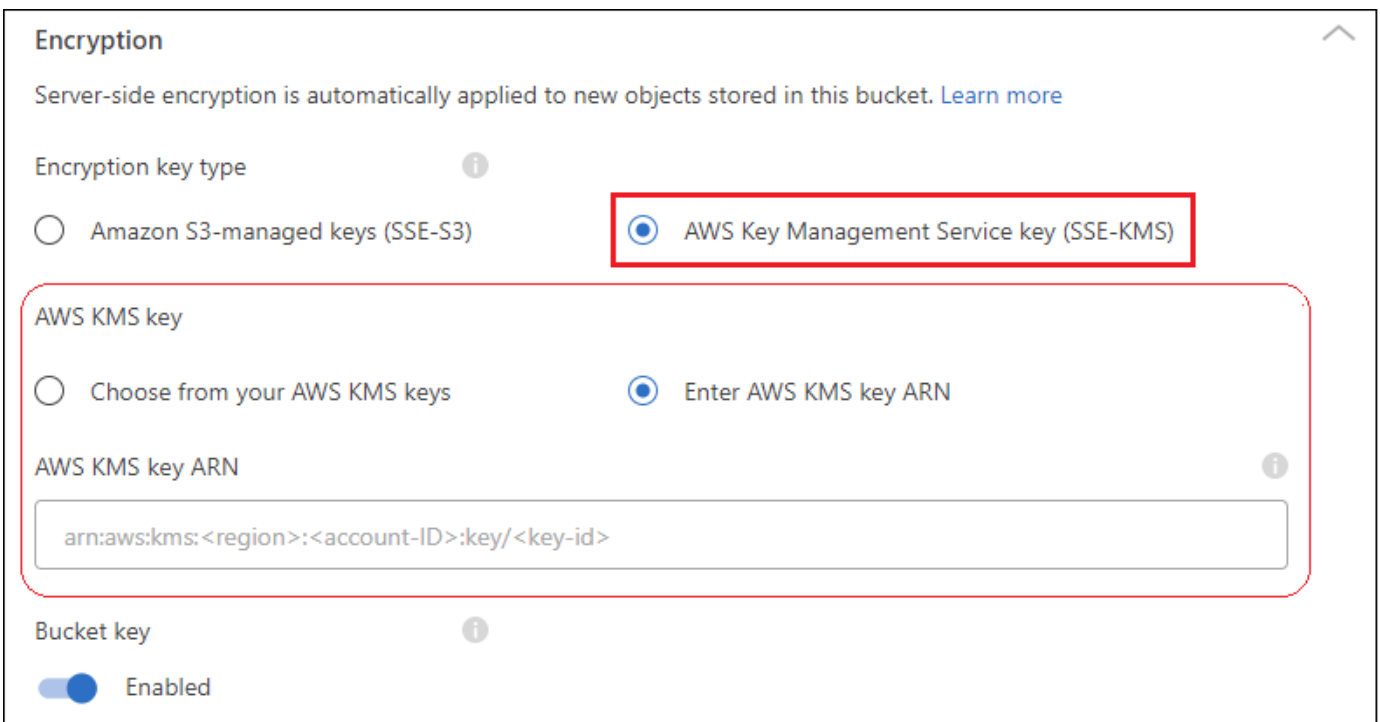
Amazon S3-managed keys (SSE-S3) AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

Bucket key ⓘ

Enabled

[Apply](#) [Cancel](#)

「AWS Key Management Service key (SSE-KMS)」を選択した場合は、作成済みのAWS KMSキーを選択するか、AWS KMSキーARN (Amazon Resource Name)を使用できます。



Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type ⓘ

Amazon S3-managed keys (SSE-S3) AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

AWS KMS key

Choose from your AWS KMS keys Enter AWS KMS key ARN

AWS KMS key ARN ⓘ

arn:aws:kms:<region>:<account-ID>:key/<key-id>

Bucket key ⓘ

Enabled

"AWS Key Management Serviceの詳細については、Amazon S3のドキュメントを参照してください"そして約 "お客様のキーを使用するか、AWSのキーを使用するか"。

S3バケットでネットアップデータサービスを使用

BlueXPでS3バケットを検出したら、ネットアップのデータサービスを使用してバックアップ、階層化、分類、データ同期を実行できます。

- BlueXPのバックアップとリカバリ*を使用して、オンプレミスのONTAP システムやCloud Volumes ONTAP システムからS3オブジェクトストレージにデータをバックアップできます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAP またはCloud Volumes ONTAP 作業環境をAmazon S3作業環境にドラッグアンドドロップします。

"Amazon S3ストレージへのONTAP データのバックアップの詳細については、こちらをご覧ください"。

- BlueXP階層化*を使用して、アクセス頻度の低いデータをオンプレミスのONTAP クラスタからS3オブジェクトストレージに階層化できます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAP 作業環境をAmazon S3作業環境にドラッグアンドドロップします。

"ONTAP データをAmazon S3ストレージに階層化する方法については、こちらをご覧ください"。

- BlueXPのコピーと同期*を使用してS3バケットとの間でデータを同期します。

作業を開始するには、Canvasに移動し、ソースの作業環境をターゲットの作業環境にドラッグアンドドロップします。Amazon S3作業環境はソースでもターゲットでもかまいません。

Amazon S3作業環境を選択し、[サービス]パネルの*[コピーと同期]*をクリックして、S3バケットとの間でデータを同期することもできます。

"BlueXPのコピーと同期サービスの詳細については、こちらをご覧ください"。

- BlueXP分類*を使用してS3バケットをスキャンし、個人データと機密データを検出します。BlueXPの分類では、NetApp解決策用に作成されたバケットかどうかに関係なく、アカウント内の任意のバケットをスキャンできます。

開始するには、Amazon S3作業環境を選択し、[サービス]パネルの*[分類]*セクションから適切なオプションを選択してS3バケットのスキャンを開始します。

"BlueXP分類サービスの詳細については、こちらをご覧ください"。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。